

番組研究委員会 実践レポート

B 小社 3

1 提案者 小山 謙 (飯綱町立牟礼小学校)

2 提案内容

(1) 単元名 「あたたかい土地の暮らし -沖縄県-」「寒い土地の暮らし -北海道-」(5 学年)

(2) 利用した番組 ①ズームジャパン『巨大すごろく事件!?!~あたたかい土地 さむい土地』

②動画クリップセレクション100

『気候条件から見た暮らし~あたたかい土地 (5本) さむい土地 (2本)』

(3) 授業のねらい

四季の変化や梅雨・台風・季節風について学習し、日本の気候の特色について興味をもった子どもたちが、あたたかい土地・寒い土地に暮らし人たちがどのように生活しているかを調べる場面で、NHK for School の動画を見たり、教科書・資料集・インターネット資料で調べたりすることを通して、その土地の工夫や努力を知り、自然条件や気候を活かした暮らしをしていることを理解することができる。

(4) 授業の実践記録 (全5時間扱い中第4時)

段階	学習活動	児童のようす	指導・助言	備考
導入	1 沖縄県・北海道のどちらに住んでみたいか、自分の意見を発表する。	<p>沖縄県</p> <ul style="list-style-type: none"> あたたかいから。 沖縄の青い海でもぐったり、泳いだりしてみたいから。 <p>北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊かだから。 さっぽろ雪まつりに行ってみたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> どちらに住みたいか、理由と合わせて発言できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード 沖縄県と北海道の拡大写真
	2 沖縄県と北海道はどのような特色をもった土地なのか、考える。	<p>沖縄県</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県は、1年中あたたかいが、台風や暑さが大変。 <p>北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道は、夏は涼しいけど、冬はとても寒くて、雪が大変。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や自然現象に注目できるように、雨温図や前単元で扱った桜開花予想図を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨温図 全国桜開花予想図

あたたかい土地・寒い土地に暮らし人たちは、どのような工夫をして生活しているのだろうか。

展開	<p>3 調べ学習</p> <p>自分が調べたことや分かったこと、参考にした動画や資料をロイロノートに提出する。提出箱(編集画面)は共有状態にし、いつでも見ることができる。</p>	<p>沖縄県</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑さ対策で、家に大きなひさしや窓がついている。 防風林(ふくぎ)がある。 水不足対策で、屋上に貯水タンクを置いている家がある。 台風対策で、コンクリート造りの家がある。また、窓に格子がついている。 風で屋根がとばないように、しっくいを塗って頑丈にしている。 <p>北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの家に灯油タンクがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個で追究できるよう、ロイロノート資料箱に教材一覧を送る。 教材や資料は、必要な物を自分で選択して使う。 ☆動画：ズームジャパン『巨大すごろく事件!?!』 ☆動画クリップ 	<ul style="list-style-type: none"> iPad 学習アプリ：ロイロノート 番組視聴 番組視聴
----	--	---	---	---

<p>まとめ</p>	 <p>5 本時のふり返り・次時に向けて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ふり返りをロイロノート：編集画面に入力し、共有することができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根が「へ」の字型で急なつくりになっていて、排水溝を置いている家もある。 ・寒い風が入ってこないように、玄関が二重になっている。 ・雪を捨てて流して溶かすための、流雪溝が道路にある。 ・除雪した雪を集めて「雪室」として冷蔵庫代わりに使っている。 ・あたたかい土地・寒い土地の人は、家の造りをそれぞれ工夫して生活している。 ・厳しい自然を克服するだけでなく、農業や観光に利用していることがわかった。 ・長野県やぼくたちの住んでいる飯綱町も寒くて雪が多いから、流雪溝があるといいなと思った。 ・ズームジャパンの中で紹介されていた観光や特産品、名物や農産物についても今度調べてみたい。 	<p>セレクション 100</p> <p>○教科書 P48～65</p> <p>○資料集</p>	 <p>・次の時間は、あたたかい土地のくらし・寒い土地のくらしの特色を表にまとめ、キャッチコピーをつくることを伝える。</p>
------------	---	---	--	--

(5) 考察

- ・「ズームジャパン」は、今年度新たに始まった番組で、社会科が得意な小学5年生：ショーゴと、疑問をみつけることが得意な姉：ミウが、日本の国土や産業について調べていく番組である。子どもたちに馴染みのある『アプリ』や『アイコン』といった言葉・場面が随所に出てきて、シンプルに楽しく解説してくれるので、子どもたちが興味をもって視聴している。また、『ズームアウト』で全体の概要やテータを、『ズームイン』で現場の工夫や働く人の思いを調査するなど、分かりやすく示されているので、子どもたちが自分から考えたり、まとめたりする活動の大きな助けになった。
- ・クリップを繰り返し視聴していた児童がいた。動画の解説（字幕）があり、理解を深めていた。また、NHK for School のクリップ集から、教師が示した動画以外のものを使用した児童が、「この動画、分かりやすかったよ。」と、友だちに紹介している場面も見られた。
- ・教科書や資料から、自分に必要な情報を選んだり、探したりすることが難しい児童にとって、映像を通して学ぶことができるのは有効であった。大切だと思われる箇所を一時停止し、画面を拡大して情報を確認したり、学習カードに記入したりする姿も見られた。
- ・自分が参考にした情報や分かりやすかったクリップ動画を友だちに紹介できるよう、学習アプリ：ロイロノートの編集画面を常に共有状態にし、子どもたちが見たいとき、必要だと感じたときに、その情報をいつでも見ることができるようにした。自分が気づかなかった事柄を知ることができたり、同じ気づきをもった友だちに共感し、「自分も同じこと考えた。」などと意見交換をしたり、話し合ったりするなど、教師の声がなくても協働的な学習につながる場面があった。

(6) 番組への要望

- ・クリップはとても使いやすい。1～2分の短時間で視聴できるものが多いので、単元内自由進度学習において、子どもたちが必要だと思った動画や情報を自分で選び気軽に使うことができる。また、教師が自分でオリジナルのクリップ集を作ることができるのもありがたい。本数を増やしたり、常に新しい情報・データに更新していったりするなど、今後のさらなる充実をお願いしたい。